



発行
日本共産党
春日部市中央
春日部市中央
7-10-9
電話 736-9933
FAX 736-9991

介護保険特別会計決算質疑

特養待機者268人に

2日、9月定例市議会で今尾やすのり議員は、平成30年度介護保険特別会計決算認定について本会議質疑をおこないました。

所得200万円未満の滞納者9割

介護保険料の滞納率は、所得段階11段階のうち、もっとも低い第1段階(生活保護を受給している人。世帯全員が市民税非課税で、老齢福祉年金を受給している人。世帯全員が市民税非課税で、本人の前年の課税年金収入額+合計

所得金額の合計が80万円以下の人、介護保険料は年額22,410円)で34.2%です。第7段階(本人が市民税課税で、前年の合計所得金額が120万円以上200万円未満)まで含めると約9割にも達しています(下図)。

第7段階の人でも、年額7,680円もの保険料が課されます。所得の低い人に重い負担となっていることは明らかです。

特別養護老人ホームの待機者数は前年より43人増え268人となりました(要介護1・2の人を待機者から外した集

計)。当初予定していたホーム増設が1カ所実現しなかったこともわかりました。この間、待機者は増え続けており、待機者をなくすために特別養護老人ホーム増設と、職員の処遇改善は急務です。

基金活用で

負担軽減を

介護給付費準備基金積立金は、ここ数年10億円から14億円で推移しています。この基金を介護保険料の負担軽減の

ために活用すべきです。また、ケアマネジャーは、月いくらまでなら利用料を払えるかを確認し、払える金額の中でケアプランを立てなければならぬ実態があります。利用料の減免制度が必要です。

国は、要介護1・2の人の生活援助サービスまで、市区町村事業に移行させる議論を進めようとしています。

市は、国の責任放棄を許さず制度の充実を求め、必要な介護が受けられるよう自治体の責務を果たすべきです。

所得段階別の滞納者数と滞納率

	保険料滞納者数	滞納率
第1段階	650人	34.2%
第2段階	40人	2.1%
第3段階	58人	3.0%
第4段階	432人	22.7%
第5段階	38人	2.0%
第6段階	276人	14.5%
第7段階	234人	12.3%
第8段階	115人	6.0%
第9段階	38人	2.0%
第10段階	13人	0.7%
第11段階	9人	0.5%

平成30年度病院事業会計決算質疑 地域の中核を担う病院

9月3日(火) 松本ひろかず議員が、平成30年度病院事業会計決算について質疑を行いました。

要旨は次の通りです。

**病床利用率81・6%
目標85%をめざす**

平成28年7月にオープンした市立医療センターの30年度の年間延患者数は、入院で10万8117人(一日平均296人)、外来で18万5190人(一日平均7

病床利用率	
平25	63.5%
平26	65.0%
平27	65.3%
平28	69.1%
平29	84.3%
平30	81.6%
平25年公立病院改革 ガイドライン70%	

59人)です。(29年度に比べて入院より外来が増加)病床数は363床で、年間病床利用率(ベット数に対して入院患者が、どれくらいの割合でみえたかを示す基本的な指標)は、81・6です。右表の通り、29・30年度とも80%を超え、空き病床が少ない状況で利用されています。今後、85%をめざしています。

**GCU・NICU
病床利用率77・8%**

市立医療センターは、4疾病(がん・脳卒中・急性心筋梗塞・糖尿病)、4事業(小児医療・周産期医療・救急医療・災害時医療)へ

の対応を重点施策に定め、地域の中核を担う病院として整備を進めてきました。特に、地域がん診療連携病院の機能を強化しており、入院・通院による治療を行っています。30年度の緩和ケア10床の病床利用率は35%です。

30年度の分娩(出産)数は399人で、NICU(新生児集中治療室3床)・GCU(発育支援室10床)の病床利用率は77・8%となつており、小児医療・周産期医療として重要な役割を果たしています。

救急医療では、30年度の春日部消防本部からの救急受入れは59・6%で、受入れが困難な場合の理由は、手術中59%、専門外23%となつています。

病診連携・病病連携をすすめる

市立医療センターが、高度医療の役割を果たすためには、地域の医療機関との連携が必要です。そのため「病診連携・病病連携」をすすめています。30年度の「紹介率」は72・1%、「逆紹介率」は24・8%です。市民が「かかりつけ医」を持つことも重要です。

**2年連続で2億円を
超す純利益(黒字)**

医師・看護師を多数確保し、29年度2億1968万円、30年度2億9164万円の純利益(黒字)でした。

市立医療センターは、病院・執行部・議会・市民の努力によって再整備されました。今後は、専門医を確保してER(救急救命)や在宅医療など、さらに市民の期待に応えられる病院にすることが必要です。



市立医療センター TEL735-1261 (土・日・祝の昼間と夜間毎日) 内・外 救急電話相談 #7119
9/15(日) (内科系)花川内科クリニック: 中央3-8-2 TEL752-3378: 内、循、消 (小児科系)豊春内科小児科クリニック: 上蛭田681 TEL760-2300: 内、小 (外科系)内牧クリニック: 内牧3149 TEL755-2118: 外科、消
9/16(月) (内科系)菊池内科医院: 大場923 TEL735-0311: 内、循 (小児科系)ゆりのき医院: 谷原1-16-20
TEL752-3535: 小 (外科系)分娩館医院: 備後西5-4-28 TEL739-3883: 産